

当院の集中治療室(ICU)は下記の研究に参加しております。

研究名:急性呼吸窮迫症候群大規模多施設共同前向き観察研究 (LUNG-SAFE study)

**【研究の目的】**

急性呼吸窮迫症候群(Acute Respiratory Distress Syndrome; ARDS)は、感染症、外傷、手術などを契機に急性に発症する呼吸不全です。ARDS の診断基準が一昨年改訂されたことに伴い、この新基準(ベルリン定義)に基づく疫学調査がヨーロッパ集中治療医学会の主導で行われることになりました。この研究には世界中の有名な大学病院や市中病院の ICU が参加を表明しており、日本にも強い参加要請がありましたので、当院 ICU も参加することとなりました。この研究に参加することによって、ARDS 治療の発展に大きく貢献できると考えております。

尚、本研究計画は当院倫理委員会で承認を得ております。

**【研究の方法及び期間】**

本研究は観察研究です。当院の治療基準に基づいて通常の治療を行う中で収集される患者さんの情報を匿名化した後に、本研究の中央事務局であるヨーロッパ集中治療学会に送ります。各患者さんについての観察期間は ICU に入った日から 90 日間です。尚、90 日以内に退院された場合は、退院後に外来受診して頂く必要はありません。

**【予期される効果及び危険性】**

本研究は観察研究のため、本研究に伴い患者さんに対して利益や危険性は生じません。

**【試験研究への参加に同意しない場合】**

本研究は観察研究のため、参加を同意されない場合でも治療法には一切影響しません。

**【試験研究に関わる費用について】**

本研究は観察研究のため、通常の治療にかかる費用以上の費用は生じません。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

平成 26 年 3 月

連絡先:

横浜労災病院 中央集中治療部

西澤 英雄

TEL:045-747-8111(代)